

## 盛岡市クリーンセンター

# 公害防止対策協議会だより

令和4年3月 47号

公害防止対策協議会事務局  
(盛岡市クリーンセンター内)

連絡先：(019)663-7153

今回は、協議会及び公害監視委員会の会議内容、令和3年度調査研究事業・視察報告及び令和3年度上半期環境モニタリング結果などについてお知らせします。

### 会 議 内 容

#### 第84回公害防止対策協議会 [令和4年1月18日開催]

- 環境モニタリング結果について
- 一酸化炭素濃度ピークの発生状況について
- 飛灰及び主灰中金属等溶出試験結果について
- 令和3年度調査研究事業報告・視察報告について
- 旧三ツ割清掃工場の解体工事について

#### 第54回公害監視委員会 [令和3年11月25日開催]

- 環境モニタリング結果について
- 飛灰及び主灰中金属等溶出試験結果について
- 一酸化炭素濃度ピークの発生状況について
- 2号炉排ガス臭気調査結果について
- 令和4年度プラント設備改修工事について

### 令和3年度調査研究事業・視察報告

公害防止対策協議会では、令和3年11月16日（火）に焼却施設の実例調査を目的として、仙南クリーンセンター（宮城県角田市毛萱字西ノ入43-11）を視察しました。視察の概要と質疑応答の主な内容について報告します。

#### ◎ 施設概要

宮城県の仙南地域2市7町（白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町）の可燃ごみを処理する施設として、平成29年4月から稼働しています。この施設では、組合が所有する仙南最終処分場の埋設廃棄物を掘り起こし溶融処理することにより、令和元年に満杯予定となっていた最終処分場を令和17年まで延命化することとしております。



さらに、この施設は「流動床式ガス化溶融炉」を採用しており、ごみの焼却熱により焼却灰を溶融処理（スラグ化）し土木資材として利用することや金属類を回収することによりサイクル率の向上を図っています。また、蒸気タービン発電により施設内で使用する電力を賄い、余剰分は電力会社に売電することで、地球温暖化防止・循環型社会の形成に寄与しています。

### 概要施設

運営主体	仙南地域広域行政事務組合
着工	平成26年1月
竣工	平成29年3月
敷地面積	53,038㎡
階数	地下1階・地上6階建
延床面積	10,918㎡
処理方式	流動床式ガス化溶融炉
処理能力	200 t/日 (100 t/24h × 2系列)
発電能力	3,200kW
施工監理	パシフィックコンサルタンツ (株)
設計施工	(株) 神鋼環境ソリューション
運営維持管理	(株) 仙南環境サービス

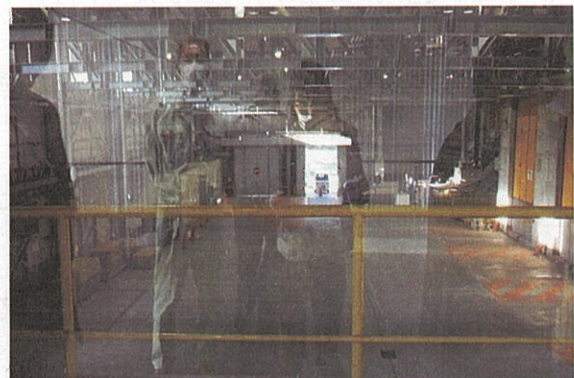


### ◎ 処理対象及びごみの受入れ体制

可燃ごみ（可燃性粗大ごみ含む）、掘り起こしごみ、リサイクル残さ、し尿脱水汚泥、プラスチック類及び災害ごみを処理しています。

プラスチック類とは、プラスチック製容器包装とは別に資源ごみとして回収しているもので、燃料として受け入れています。プラットホームでは、ごみ投入扉1番をプラスチック類の専用としています。

プラットホームは許可車両と一般車両とで入口が別に設けられており、一般車両はダンピングボックスから投入します。許可車両については投入扉上部のパトランプの点灯により投入扉を指示することで、人による案内を不要としています。



### ◎ 質疑応答

Q：業務委託費が15年間で83億6千円とすると年間では 5.5～6億円弱であり、

また、財源内訳の9億3千万円が全体のごみ処理にかかる経費と考えてよろしいか。

A：5、6億円がこの施設を運営するのにかかっている費用であり、そのほか、この施設の設備工事費の返済分が約2億円、例外的であるが、令和2年度については東日本台

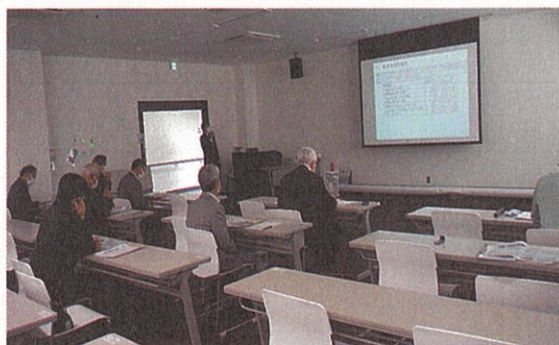




風の災害ごみの処理といった突発的な事業費がかかっている。さらに、ごみの有料化にあたって、袋の製造・配送・諸経費が約1億円となっている。この施設の建設費用、管理運営費用、ごみ有料化に係る費用の3本建てと考えた費用が約9億3千万円であり、そのうち施設の管理運営にかかる費用が約6億円と考えていただいてお間違いない。



Q：ごみの分別について、盛岡市ではプラスチック製品、例えば壊れたバケツや雪ベラについては不燃となっているが、こちらでは可燃となっているのか。



A：硬質プラスチックについては、資源ごみとしてこちらで燃やしている。プラスチックごみはプラマークの付いた容器包装プラスチックとそれ以外のプラスチックの2種類がある。前者はここではなく別のリサイクル施設で手選別され、容器包装リサイクル協会の指定工場に流れている。後者については、協会に引き受けてもらえない廃棄物になるため、仙南地域では「その他のプラスチック」として燃焼効率を上げるための資源ごみとして収集しているもので、処理としては焼却をしている。

Q：ごみを直接持ち込む場合、袋代とごみ処理手数料と二重にかかっていることになるのか。

A：有料袋は収集運搬に使用するもので、直接持ち込みの場合は有料袋に入れる必要がない。

Q：熔融炉で処理した場合と普通に焼却した場合とで、最終処分場への埋立物の量はどの程度の差があるのか。

A：他の施設との比較はわかりかねるが、当施設では処理量200 t に対して出る灰の量は8 t 程度。スラグについては14 t、金属類が2 t 程度出ている。埋立物量は従来約5,200 m<sup>3</sup>/年だったものが、現在は約2,500 m<sup>3</sup>/年と約1/2に削減されているという実績となっている。

## 使用済み小型家電の回収

盛岡地域では、使用済みのノートパソコンやデジタルカメラなどの小型家電を公共施設やスーパー、家電量販店など60箇所に回収ボックスを設置して回収しています。小型家電の中には鉄や銅などのほか、希少な金属であるいわゆる「レアメタル」が含まれています。最終的に埋め立てられるごみを減量するとともに、限りある資源を有効に活用するため、市民の皆様の御協力をよろしくお願いします。

### 令和2年度回収量

	年間回収量	回収日数
盛岡地域	10,740kg	53日



## 環境モニタリング結果

排ガスにおける測定項目は全て基準値以下でした。また、その他大気質、騒音などの測定項目においても全て基準値以下でした。

### 排ガス中ばいじん等濃度測定結果

単位	ばいじん濃度			硫黄酸化物濃度			窒素酸化物濃度			塩化水素濃度		
	[g/Nm <sup>3</sup> ]			[ppm]			[ppm]			[ppm]		
排出基準	0.01			10			100			10		
	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉
4月	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)	0.4 (1.1)	0.3 (1.1)	0.4 (1.7)	46.7 (49.7)	45.4 (52.9)	47.5 (57.7)	5.2 (7.2)	4.8 (6.7)	4.7 (6.3)
5月	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)	0.3 (1.3)	0.4 (1.8)	0.4 (1.3)	46.9 (50.3)	43.9 (48.6)	48.6 (50.1)	5.8 (7.8)	4.7 (6.7)	3.6 (5.1)
6月	0.000 (0.000)	休炉	0.000 (0.000)	0.3 (1.3)	休炉	0.3 (2.3)	48.0 (51.8)	休炉	47.8 (55.4)	5.6 (7.8)	休炉	4.7 (6.5)
7月	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)	0.4 (1.1)	0.6 (1.5)	0.3 (1.1)	47.4 (50.1)	46.8 (49.1)	47.9 (50.7)	5.7 (7.5)	5.7 (6.6)	5.7 (7.2)
8月	休炉	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)	休炉	0.2 (1.2)	0.2 (1.1)	休炉	46.6 (72.7)	47.2 (53.9)	休炉	5.4 (7.3)	5.3 (7.2)
9月	休炉	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)	休炉	0.2 (3.4)	0.4 (1.2)	休炉	46.8 (50.7)	47.2 (50.4)	休炉	5.5 (7.0)	5.5 (7.1)

注1 上段の数値はその月の平均値を示し、下段（ ）の数値はその月の1時間値の最高値を示します。

注2   は、休炉のため稼働日数がその月の半数に満たなかった月を示します。また、休炉と記載したものは稼働日数がゼロの月を示します。

### 排ガス中ダイオキシン類濃度測定結果

単位	ダイオキシン類濃度	測定日
	[ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> ]	
排出基準	0.1	
1号炉	0.0024	令和3年5月14日
2号炉	0.000030	令和3年9月15日
3号炉	0.00013	令和3年7月6日